（表面）

シンポジウム

**アート市場への挑戦**

障がい者の芸術表現の可能性

２０１４年１月１１日（土曜日）

１３時３０分から１６時３０分まで（１３時開場）

りそな銀行大阪本社講堂

大阪市中央区備後町２－２－１（最寄駅：大阪市営地下鉄中央線・堺筋線「堺筋本町」駅）

定　員：５００名

参加費：無料

手話通訳・要約筆記あり

主催：大阪府、大阪市立大学都市研究プラザ

協力：りそな銀行、りそな総合研究所、毎日新聞社、ＮＰＯ法人都市文化創造機構

後援：厚生労働省

（裏面）

**シンポジウム**

**アート市場への挑戦　障がい者の芸術表現の可能性**

近年、障がい者の芸術表現に対する関心と取り組みが広がりを見せ、海外からの注目度も高まっています。一方、「表現したい！」という思いを受け止め、創作環境を整えていくには多くの課題があることも事実です。

大阪府は平成２０年度から「アートを活かした障がい者の就労支援事業」を開始し、作品を「現代美術」として評価するとともに、アーティストとしての自立の可能性を公民協働で模索してきました。これまでの成果と課題を検証しながら、「アート市場への挑戦」について皆さんと一緒に考えます。

**日　時** 平成２６年１月１１日（土曜日）１３時３０分から１６時３０分まで（１３時開場）

**会　場** りそな銀行大阪本社講堂（大阪市中央区備後町２－２－１）

**定　員** ５００名（申込先着順）

**参加費** 無料

**主　催** 大阪府、大阪市立大学都市研究プラザ

**協　力** りそな銀行、りそな総合研究所、毎日新聞社、ＮＰＯ法人都市文化創造機構

**後　援** 厚生労働省

**プログラム**

１３時３０分 開会

１３時４０分 対談「障がい者の自立支援　アート活動の視点から」

 村木　厚子　氏、今中　博之　氏

１４時４０分 休憩

１４時５５分 パネルディスカッション

「大阪府の『アートを活かした障がい者の就労支援事業』の課題と展望」

１６時３０分 閉会

**パネリスト**

村木　厚子（厚生労働事務次官）

今中　博之（社会福祉法人素王会理事長／アトリエインカーブクリエイティブディレクター）

笠谷　圭見（ＰＲ－ｙ主宰／RISSI INC.代表取締役）

藤原　　明（りそな総合研究所プロジェクトフォロー／りそな銀行大阪地域インフォメーションオフィサー、法人ソリューション営業部アドバイザー）

南嶌　　宏（美術評論家／女子美術大学教授／武蔵野美術大学客員教授）

山口　　孝（ギャラリーヤマグチクンストバウ代表／ART OSAKA相談役）

佐々木雅幸（大阪市立大学都市研究プラザ所長／同大学教授）

**参加申し込み方法**

1. 氏名、②住所、③連絡先（電話番号・ファクシミリ）、④メールアドレス、⑤参加人数、⑥配慮の必要な内容（車椅子、点字資料必要等）を明記の上、郵送またはインターネットにてお申し込みください。

【郵送先】540-8570大阪市中央区大手前２丁目

大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課社会参加支援グループ　シンポジウム担当宛

【インターネット】　シンポジウム　アート市場への挑戦　で検索

【申込み締切】平成２５年１２月２５日（水曜日）まで

（郵送は当日消印有効、インターネットは当日１７時まで）（定員になり次第締切）

**本シンポジウムに関するお問い合わせ先**

大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課社会参加支援グループ

540-8570大阪府大阪市中央区大手前２丁目　電話：06-6944-9176　ファクシミリ：06-6942-7215